

内容と解説

EXERCISES I

Student Book 2ページのイラストを使って練習

1. a. ex. バード ① バード ② かとう ③ きむら ④ たなか
 b. ex. マイク ① ナンシー ② けん ③ さちこ ④ けいこ
 c. ex. マイク バード ① ナンシー バード ② かとう けん ③ きむら さちこ ④ たなか けいこ

◆主な登場人物の名前が挙げられています。日本に留学してきた主人公のアメリカ人中学生、そのクラスメートの日本人の男の子、女の子、担任の先生と、それぞれの名前を紹介します。

2. a. ex. バードくんです。 ① バードさん ② かとうくん ③ きむらさん ④ たなかせんせい
 b. ex. マイクくんです。 ① ナンシーさん ② けんくん ③ さちこさん ④ けいこさん
 c. ex. マイク バードくんです。
 ①ナンシー バードさん ②かとう けんくん ③きむら さちこさん ④ たなか けいこせんせい

◆「～さん」「～くん」「～せんせい」などの敬称を学びます。

◆ひとりひとりの登場人物のイラストを見せながら、みんなに紹介するようにして、敬称をつけて、「バードくんです」「きむらさんです」「たなかせんせいです」のように発話していきます。

◆同様に敬称をつけて、友達や先生を、みんなに紹介する練習をします。教室にいない友達や先生の写真を見せて、紹介すると、より実際の練習になります。相手にふさわしい適切な敬称を選んで使います。

⇒ [日本と世界の文化・情報 L 1 【1】 日本人の名前](#)

EXERCISES II

Student Book 2～3ページのイラストを使って練習

1. ex. にほん ①カナダ ②アメリカ ③ブラジル ④インド ⑤オーストラリア ⑥ちゅうごく ⑦イギリス

◆世界地図のイラスト上の各国の旗を指しながら、まず国名を導入します。日本式の発音を練習しながら、英語と日本語の音韻体系の違いを体得させます。特に「オーストラリア」など長い国名を初めからきれいに発音するのは難しく、「イギリス」「ドイツ」「スイス」など、英語の呼び方とかなりちがうものもあるので、よくリピート、口慣らしをします。

⇒ [楽しく学べるアイデア集 L 1 【1】 旗揚げ 【2】 国名ビンゴ](#)

⇒ [日本と世界の文化・情報 L 1 【2】 世界の国々・人々](#)

2. ex. にほんじん ①カナダじん ②アメリカじん ③ブラジルじん ④インドじん ⑤オーストラリアじん
 ⑥ちゅうごくじん ⑦イギリスじん

◆人物とその背景にある各国の代表的な名所や事物を手がかりに、国籍の言い方を学びます。人物のイラストを指しながら、「にほんじん」「カナダじん」といくつか例を示し、生徒が1. で覚えた国名のあとに「じん」をつけるルールを発見し、自分でつくれるようになるまで練習します。

⇒ [楽しく学べるアイデア集 L 1 【3】 国籍ビンゴ](#)

3. ex. にほんじんです。

- ①カナダじん ②アメリカじん ③ブラジルじん ④インドじん ⑤オーストラリアじん
⑥ちゅうごくじん ⑦イギリスじん

◆再び「～です」の文型で、国籍を練習していきます。(注. この段階ではまだ、topic markerの「は」を導入していませんので、イラストも特定の登場人物を避けています。)

◆世界の有名人の写真を用意して、国籍を言わせるなどしても楽しいです。

4. ex. A: にほんじんですか。 B: はい、にほんじんです。

- ①カナダじん ②アメリカじん ③ブラジルじん ④インドじん ⑤オーストラリアじん
⑥ちゅうごくじん ⑦イギリスじん

◆ここで、初めて日本語の質問と答えの形を学びます。クエスチョンマークを用意し、「にほんじんですか」と発話しながら、この形が質問であることを示します。テキストのイラストをご覧ください。この練習では、肯定の答えが出る質問だけを並べています。「はい、にほんじんです」という答え方を導入します。生徒は「はい」がYESの返事だと気づきます。いくつも例示し、文末に助詞「か」をつけると疑問文になるというルールを生徒自身が発見できるよう、指導します。

EXERCISES III

Student Book 4ページのイラストを使って練習

ex. A: ちゅうごくじんですか、にほんじんですか。 B: にほんじんです。

- ①A: イギリスじん、カナダじん B: イギリスじん ②A: にほんじん、インドじん B: アメリカじん
③A: オーストラリアじん、イギリスじん B: オーストラリアじん ④A: にほんじん、カナダじん B: カナダじん
⑤A: アメリカじん、カナダじん B: アメリカじん ⑥A: オーストラリアじん、ちゅうごくじん B: オーストラリアじん
⑦A: カナダじん、ブラジルじん B: ブラジルじん

◆続いて、否定の答えの練習に移りたいとお考えの先生もいらっしゃると思いますが、それは少し待って、ここで、「ちゅうごくじんですか、にほんじんですか」という選択疑問文を導入します。英語とは構文がちがいが、ふつうの疑問文を並列する言い方に気づかせます。答えるとき、「はい」をつけてしまう生徒がいたら、EXERCISES IIの4. とはちがいが、「はい」をつけないことに注意させます。

EXERCISES IV

Student Book 5ページのイラストを使って練習

1. ex. A: ちゅうごくじんですか。 B: いいえ、ちゅうごくじんではありません。

- ①インドじん ②にほんじん ③イギリスじん ④アメリカじん ⑤ブラジルじん ⑥オーストラリアじん
⑦カナダじん

◆イラストを見ながら、生徒が「ちゅうごくじんですか」という質問を聞いて、否定の答えはどう言うのだろうかという意識をもって聞いているところに、「いいえ、ちゅうごくじんではありません」という文型を導入します。

◆「いいえ、N1 ではありません。N2 です」という答え方を練習します。

EXERCISES V

Student Book 6ページのイラストを使って練習

1. ex. せんせい ① せいと ② ともだち2. ex. a. たなかせんせいは バードくんの せんせいです。b. バードくんは たなかせんせいの せいとです。① a. バードくん、かとうくんの ともだち b. かとうくん、バードくんの ともだち② a. たなかせんせい、かとうくんの せんせい b. かとうくん、たなかせんせいの せいと

◆人の間柄を示す「の」の練習です。イラストをご覧ください。丸囲みで焦点があたっている人物が主題となります。「せんせいの バードくん」「せいとの たなかせんせい」のような誤りが出るものがしばしばありますので、語順をよく練習してください。

MAIN DIALOGUE

会話本文は Student Book 9ページ/10ページのイラストを使って練習

◆東京中学校にはじめてやってきたバード君を、校長先生が担任の田中先生に紹介する場面です。MAIN DIALOGUEの冒頭の英文は、会話の場面を生徒に理解させるためのものです。

◆「はじめまして」「どうぞよろしく」というあいさつを導入します。日本語のリズムに慣れるためにも口慣らしを十分にしてください。意味理解に媒介語を用いる場合は、先生が英文を読み上げることにはせず、見せるだけにすると、日本語学習の流れが途切れません。

◆テキストのモデル会話を終了したら、今度は生徒自身の状況に合わせて、ロールプレイをしていきます。握手のかわりにおじぎをする日本の習慣を紹介し、おじぎとはどんなものか実際にしてみながら、会話練習をします。初対面のあいさつ、自己紹介、他の人の紹介が、個人間でも、おおぜいの人の前でもできるようにします。

⇒ [日本と世界の文化・情報 L 1 【3】おじぎの習慣](#)

◆スマイルマークは会話の要約文です。少しずつですが構文力を養い、書き言葉への基礎をつくります。

SHORT DIALOGUES

会話本文は Student Book 10ページ

◆テキストのモデル会話を聞かせたり、読ませたりして、内容を確認した後、役割を決めて、発話練習をします。

- ◆同様にして、生徒自身のことを話してみます。職業名をたくさん出すと負担になるので、「かいしゃいん」か、そうではないかだけを聞く程度でいいのですが、生徒が興味を持ったら、各自、自分の親の職業名だけは言えるようにするとよいでしょう。おとうさんだけでなく、「おかあさん」を加えてQAをするのもいいでしょう。
- ◆スターやスポーツ選手、各国の大統領、首相など、みんなが知っている人物の写真、また、友達や先生の写真を使って、同様の会話をすると、練習量が増えます。国名は既習のものを中心とし、必要なものは補足します。

NUMBERS From 0 to 10

Student Book 9ページ

0 (ゼロ、れい)、4 (よん、し)、7 (なな、しち)、9 (きゅう、く) には二通りの言い方があることも紹介します。

板書したり、カードを見せたりして教えます。

⇒ [楽しく学べるアイデア集 L 1 【4】クラッピングゲーム](#)

QUIZ

Student Book テキスト11~14ページ

読み書きにより言語学習項目の知識を確認します。宿題や小テストにして、フィードバックします。